

## Quatron注射針

再使用禁止

文書管理番号：D-001-02

## 【禁忌・禁止】

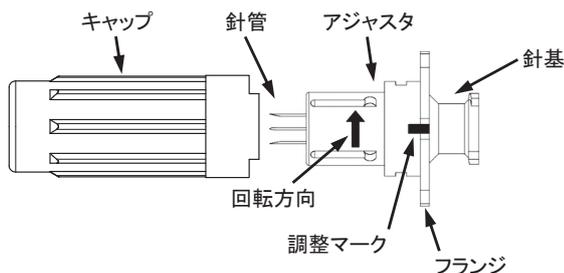
再使用禁止

## 【形状・構造及び原理等】

## 1. 構成

本品は、針管と針基及びアジャスタで構成され、針基は注射筒などに接続出来るメス・ルアーテーパーとなっており、アジャスタは回転させる事で針管の露出長さを調整する。

## 2. 構造図(代表図)



## 3. 原材料

針管：ステンレス  
アジャスタ：ポリスチレン  
針基：ポリカーボネート

## 【使用目的又は効果】

注射筒等を用いて注射用医薬品を注入すること。

## 【使用方法等】

1. 本品を包装から取り出し、注射筒等と確実に接続する。
2. 針先を傷付けないようにキャップをまっすぐ引いて取り外す。
3. 針基のフランジを持ち、回転方向(矢印方向)にアジャスタを回して針管を希望の露出長さに調整する(図1参照)。その時、調整マークを露出長さのガイドとして使用する。  
(開封時は4mmで、矢印の方向に1回転させると、露出長さが1mm短くなる。)
4. 穿刺部位に垂直に穿刺し、注射を行う。
5. 針を抜去後、アジャスタを回転方向(矢印方向)へ止まるまで回して針管を格納する(図2参照)。

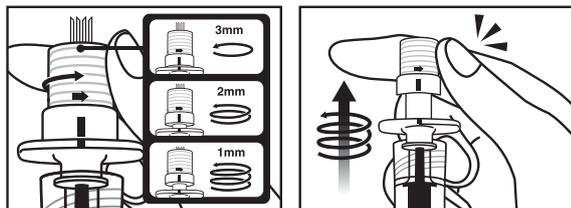


図1

図2

## ＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- ・注射筒等を取り付ける際はキャップを被せた状態で行うこと。
- ・針管に直接手を触れないこと。(針刺し、感染の可能性ある。)
- ・針基の注射筒等との接続部に直接手で触れないこと。(感染の可能性ある。)
- ・あらかじめ接続部に緩みが無いことを確認してから使用すること。
- ・注射筒等と接続する場合は以下の事項を順守すること。
  - 1) 過度な締め付けをしないこと。  
(針基が外れなくなる、又は針基が変形・破損する可能性がある。)
  - 2) 接続部に薬液又は血液を付着させないこと。  
(接続部の緩み等が生じる可能性がある。)

- ・本品を穿刺部位に押し当てる時や注射時には、薬液漏れを防止するためにアジャスタ又は針基を支持すること。
- ・目的穿刺部位により、適切な針管露出長さに調整すること。  
(針管露出長さが1.5mm以下では穿刺部から液漏れの可能性がある。)

## 【使用上の注意】

## ＜重要な基本的注意＞

- ・リキャップする必要がある場合は、針刺しを防止するために保護具等を使用するか、キャップを手で持たずに台等に置いてキャップをまっすぐ被せること。
- ・使用中は本品の破損、接続部の緩み及び液漏れ等について確認すること。

## 【保管方法及び有効期間等】

## ＜保管方法＞

水濡れに注意し、高温・多湿及び直射日光を避けて保管すること。

## ＜有効期間＞

包装の使用期限を参照(自己認証による)

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ASTI株式会社  
TEL 053-428-5644